

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

「面白法人」を標榜し、「つくる人を増やす」という理念のもと、社会に新たな価値を創出する。

クリエイター比率
90%以上

② 中長期の経営戦略

1. 既存事業の深化と新規創出

クリエイターを中心とした経営アセットを活用し、既存事業の深化と新規サービスの創出を両立する経営を志向。

3. 組織戦略と人材確保

優秀な人材の確保・育成につながる環境・制度設計、経営理念の浸透、内部統制やコンプライアンス体制の強化に取り組む。

2. 事業ポートフォリオ構築

多様な事業構成の中で収益化手段の拡大やシナジー創出に取り組み、中長期にわたって持続的に成長する事業ポートフォリオを構築。

4. 戦略的投資と事業拡大

「面白法人」ブランドコンセプトを活かした各事業領域への戦略的投資を実施し、事業規模の拡大や新たな機会獲得を図る。

③ 対処すべき課題

① コーポレートブランド価値の向上

- ・「面白法人」ブランド認知度の向上とマスメディアでの露出拡大
- ・優秀人材の確保とコンテンツ強化につなげるブランド価値向上
- ・NPS指標による「面白く働けているか」の組織成長測定

② 新技術への対応

- ・クラウド・AI技術など新技術の動向把握と活用推進
- ・企画力・表現力と新技術の組み合わせによる付加価値創出
- ・プラットフォーム多様化に対応できる柔軟な開発・組織体制整備

③ 環境に合わせたリソース配分最適化

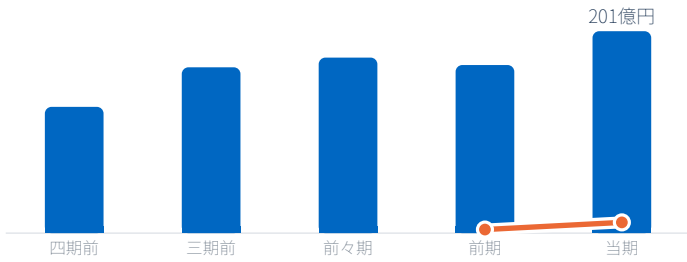
- ・ゲームエンタメ、面白プロデュース、eスポーツ、ちいき資本主義の4事業でのクリエイターリソース最適配分
- ・急激な環境変化への対応とサービス間のノウハウ共有促進
- ・市場環境・顧客ニーズの変化に対応するアサインシステムの構築

面接で使えるポイント

- ・「面白法人」という独自のブランドコンセプトを通じ、創造的人材を育成しながら社会に新たな価値を創出する経営戦略
- ・ゲームエンタメ、面白プロデュース、eスポーツ、ちいき資本主義の4つのサービスでクリエイター比率90%以上の組織体制を実現
- ・生成AIをはじめとする新技術に対応し、企画力と最新技術の組み合わせで継続的な競争力維持を目指す取り組み

証券コード 3904

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
神奈川県鎌倉市に本社を置く情報・通信業の上場企業

主力事業・セグメント

・情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・将来性評価は晴れ

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
201億円営業利益率
5.3%財務健康度
46点／100点

将来性 晴れ／就活偏差値 51.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
665万円

情報・通信業内 271位/592社

平均年齢
37.0歳

情報・通信業内 357位/593社

平均勤続
7.5年

情報・通信業内 235位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【北海道から世界へ、面白く】札幌のメガ・コミュニケーションズ

